

令和4年度「市町村の特色ある教育を支援する教員配置事業」実施市町村一覧

市町村	テーマ	市町村	公募分野	概要	求める教師像	公募する教員数	
						小	中
東信	1	小諸市	英語	◆「一校一国交流プロジェクト(仮称)」を立ち上げ、海外の子どもたちと積極的に交流を図りたい！ 市で6名のALTを直接雇用し、小諸市カリキュラムに基づき小1から中3まで一貫した英語教育を実施。今後「一校一国交流プロジェクト(仮称)」を立ち上げ、ICT機器を積極的に活用しながら英語を学ぶ喜びや意義を実感できるようにしていく。	(小)中英免を有し、新たな英語教育の実践に積極的に取り組む者。 (中)英語で授業を進める力量を有し、小中連携を視野に小諸市カリキュラムを積極的に推進する能力を有する者。	若干名	
			音楽	◆「音楽のまち・こもろ」として音楽があふれる街づくりを目指したい！ 作曲コンクールを開催する等、全市を上げて音楽があふれ音楽に親しむまちづくり「音楽のまち・こもろ」を推進。5・6年生の「生演奏の音楽に触れる体験授業」や、各校の裁量で合唱や吹奏楽等著名な講師を招聘し、児童生徒及び教員に対する指導も実施。	小諸市の音楽教育の環境や具体的な取組を理解し、子どもたちと共に歩み、努力することを惜しまない情熱ある者。	若干名	
	2	佐久市	英語教育	◆英語で主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童生徒を育てたい！ 小中の接続に着目し一貫した目標を設定するとともに、その具現に向けて中学校区内で授業公開をしたり連携会議を行ったりしていく。その中でモデルとなる取り組みを広げ、市内の多くの教員が学び合えるようにしていく。	・小学校の英語教育をよく理解しており、それを生かした授業を積極的に公開できる者。・中学校区内の小中連携を推進していこうとする意欲のある者。	1	
			理科教育	◆問題解決学習のエキスパート教科の一つである理科の授業づくりを充実させたい！ 「自ら問題を見出し、問題解決のプロセスを歩む」理科の授業づくりを充実させ、目を輝かせて目の前の事象に関わる子ども、疑問や問いを持ち、自分事の問題に自分なりの考えを持ち主体的に解決していこうとする子どもを育成する。	・理科教育に関して専門的知識と技能が豊富である者。・日常の授業を意欲的に公開し、他の教員からの相談に応じられる者。	1	
	3	御代田町	総合的な学習の時間 (教科横断的、総合的、探求的な学び)	◆地域のもの・ひと・ことと触れ合う「みよた学」を充実させたい！ 御代田町の自然や地形、歴史や文化財、産業や交通、浅間山とのかかわりや火山防災等について、テキストを基に教科横断的・総合的・探求的に学ぶ。思考力・判断力・表現力、コミュニケーション力を養い、郷土に対する愛着心や誇りを育てる。	地域の方々と交わり、探求的・体験的に学ぶことが好きな者。	2 1	
			英語教育	◆町の英語教育を充実させ、グローバルな人材を育成したい！ 1.UWC ISAK JAPANと町内小学校との交流 2.中学校ヘイマージョン教育担当の町費による教員配置 3.ウイスラーへの生徒の派遣・受入 4.各小学校へのALTの派遣 5.軽井沢夏期大学における英語講座の実施	・中学校の英語教育推進リーダーとなり、町内小学校や高等学校とも連携を図り、英語科教員の指導力向上のため、共に高め合える者。	1	
	5	上田市	特別支援教育・インクルーシブ教育の推進	◆困難さを抱える多様な子どもたちのために、適正な学びを提供できるよう専門的な知識・経験を活かしてみませんか！ すべての児童生徒にとって「わかる・できる」授業となるよう授業のユニバーサルデザイン化や、学力の基礎となる「読み」の向上を図るためのMIMの実践を推進する。また、諸検査(WISC)を含め教育相談に応じ、適切な支援を行う。	・MIM等、各事業の研修企画・運営、指導を行い、教員の特別支援教育に対する理解を深め、専門性を高めながら市の特別支援教育の推進リーダーとなれる者。	1	
			ICT教育の推進	◆ICT機器を効果的に活用し、授業改善を推進できる方をお待ちしています！ 1人1台端末の配備・校内ネットワークの整備が完了。タブレット活用に係る教員研修、モデル授業の実践等により、児童生徒にとってわかりやすい授業・一人一人の能力や特性に応じた学びを深める授業を推進していく。	・ICT活用研修会の企画・開催、具体的な活用場面を提案するモデル授業の実践・公開、GIGAスクール構想を推進するリーダーとなり得る者。	1	
	6	茅野市	施設一体型の小中一貫教育の推進	◆施設一体型に生まれ変わる永明小・中学校…小・中の垣根を超えた教育課程の在り方を検討したい！ 1.目指す児童生徒像・グランドデザインの明確化…小中間の教育課程のなだらかなつながりを構築する。 2.「地域の学校」としての位置付けの強化…両校のコミュニティスクールの見直し等 3.小中の垣根を越えた教育課程のあり方検討	・子どもの目線を大事に考え、学校づくりを子どもの立場からも俯瞰できるような視点を有している者。(小中両免を所有している者が望ましい)	1 1	
			ICTの活用を通じたGIGAスクールの実現	◆市教委に設置したICTサポートセンターと学校現場とをつなげたい！ 一斉学習、個別学習、協働学習、遠隔学習等多様な授業形態、さらには新たな家庭学習のあり方を探る契機として、ICTの活用を通じたGIGAスクールを推進する。	ICTに関するある程度の専門性を有している者。	1	

	市町村	テーマ	市町村	公募分野	概要	求める教師像	公募する教員数				
							小	中			
南信	7	11	箕輪町	◆日常的なICT機器を活用した授業改善の取組を共有・統合して「箕輪モデル」の基盤づくりをします！			ICT機器を活用した「わかる授業」「子ども主体の授業」推進のための研究	これまで積み上げてきた「わかる授業づくりのためのICT機器の活用」をさらに進め、町内全小中学校に導入された1人1台PC(Chromebook)を活用し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に基づく「箕輪モデル」を構築する。	これまでの取組をさらに進め、1人1台PCの活用を中心となって研究できる知識・技能と意欲がある者。・親身になって町内各校の取組をサポートできるコミュニケーション能力を有した者。	1	1
				◆導入した1人1台タブレット型パソコンを活用し、協働的な学びと個別最適な学びにつなげたい！				ICT教育推進	1人1台タブレット型パソコンとクラウドを授業や学校生活でどのように活用していくことが子どもたちの主体性を高め、学力を向上させることにつながるのか研究中。同時共同編集機能と副教材に焦点を当てて研究を深めていく。	・ICTを活用した授業づくりについて、新たな学びの可能性に挑戦し、生き生きと主体的に取り組むような授業を児童生徒と共に創り上げる意欲のある者。	若干名
	9	13	松川町	◆「松川町学園化構想」を立ち上げ、松川町ならではの教育を推進します！			保小中一貫教育の推進	R3年度より5保育園、2小学校、1中学校をひとつの学園として、一貫性のある教育の実現を目指している。小学校における教科担任制の導入等スムーズな接続を通して「小1プロブレム」「中1ギャップ」の解消を図る。	・町独自のスタートカリキュラムを編成し、低学年全体をリードできる中堅の者。・中学校の教育課程に精通し、小学校の教科担任制の導入について企画実施できる中堅の者。	2	
				◆グローバル化時代に必要な英語力を確実に身に付けさせたい！			英語教育(小学校外国語活動・英語、中学校英語)	①英語の「小中一貫カリキュラム」の作成と実践 ②英語指導計画「あちモデル」の見直し ③全授業のチーム・ティーチングによる英語指導力向上 ④小中学生の英語検定受験(半額公費補助)	・英語「小中一貫カリキュラム」作成・実践において中心的役割を担える者。・ICTを活用し同僚を巻き込んで授業改善を意欲的に行える者。		1
	10	14	阿智村	◆理数系の学力をさらに向上させ、地域の工業界に貢献できる人材を育成したい！			算数・数学教育(小学校算数、中学校数学)	全小中学校で算数・数学を重点教科と位置付け、①市川伸一名誉教授指導の下「教えて考えさせる授業」の実施 ②ICTを利用した授業実践・研修会開催 ③全小中学校で村雇用講師による放課後の課外授業実施	・算数・数学指導に長け、子どもをやる気にさせ、学力向上委員会等で中心的役割を担える者。・ICTを活用し同僚を巻き込んで授業改善を意欲的に行える者。	1	1
				15	◆「あさひ分校」の認知を広げ、専門的な知識や経験を活かした教育・支援を充実させたい！			特別支援教育	「あさひ分校」は自覚障学級のみで構成され、岡田小、女鳥羽中の分校として設置。様々な心理的要因により不適応を起こしている子どもたち個々の課題を総合環境療法により軽減させていくことで、集団生活・学習に参加できるようにすることを目指す。	・対応困難な子どもに対し、その状況をよく理解・分析し粘り強く支援できる者。・必要なスキル(SS T、カウンセリング等)を身につけている者(学ぶ意欲のある者)。・複数免許所有者が好ましい。	1~2
	11	17	松本市		◆「あさひ分校」に通う児童生徒の自立に向けて後押ししたい！			児童心理治療施設併設「あさひ分校」の教育力向上	様々な要因を背景に集団行動や学習に取り組むことに困難を抱え、県内唯一の児童心理治療施設「長野県あさひ学園」に入所している子どもたちを、併設の「あさひ分校」で生徒指導・特別支援教育、両面からの指導支援を重ねる。	・幅広い知識と経験を持ち、生徒指導・特別支援教育の両面から指導支援ができる者。・支援者同士、関係機関と連携・協働して指導支援できる者。	1
				18	◆児童自立支援施設「波田学院」に入所している子どもの情緒の安定と生活改善を図りたい！			「松原分校」での学校教育活動の推進	様々な要因を背景に生活リズムを乱し、そのままの環境では自立が難しい生徒を受け入れ、広範囲にわたる支援を行っている「波田学院」。そこに併設された波田中学校松原分校では生徒との信頼関係を基盤に学習態度の確立、社会適応力の増進を図っている。	・個々の特性・成育歴・家庭環境等を理解・分析し、自立した学校生活・社会生活を送ることができるよう粘り強く支援できる者。・社会性・協調性に長けた者。・複数免許所有者。	1~2
	12	20	塩尻市		◆奈川小中・安曇小中・大野川小中で少人数を生かした学習を充実させたい！			山間地小中併設校の特色を生かした教育	(小)身近な地域や観光地(上高地、乗鞍高原等)のひと・もの・こととの出会いから探求的な学習を展開する。(中)地域の環境保全や農山林業、観光産業、IT産業で活躍する人との思いに触れ、自分たちが参画できることを考え実行する学習を展開する。	・小中の免許を有し乗り入れ指導に興味のある者。・教材研究に積極的で、地域の方々と積極的に交流できる者。・子供と向き合い一緒に悩んで考え、解決していこうとする者。	3
				◆榎川地区に令和4年度開校する義務教育学校で、伝統産業とICTを組み合わせた特色のある中核活動を位置付けたい！			ものづくりは人づくり 義務教育学校で伝統・ICTを核とした人づくり	榎川地区小中学校では、これまで伝統産業である漆器工業を教育活動に位置付け、地域の方々、商工会議所等と連携してきている。そのよさを踏まえた活動を、新校では特色ある教育の中核活動として位置付けていく。	・小免及び技術免を有する者で、プログラミング教育を進め、漆器に係る学習の過程・成果についてICTを用いて情報発信できる者。・情熱的に地域をコーディネートする意欲のある者。	義務教育学校 1	

	市町村	テーマ	市町村	公募分野	概要	求める教師像	公募する教員数				
							小	中			
中信	13	21	生坂村	◆「生坂村ならではのICT教育」を推進したい！						1	
				1人1台のタブレット等を活用したICT教育の推進	子どもたちにわかりやすい授業や各種事業※に取り組むとともに、教職員のICTスキルを向上させる。(※タブレットや電子黒板を有効活用した授業研究、遠隔地学校との交流事業、臨時休業時のオンライン授業の準備及び対応等)	・村内に勤務する教職員全員に対する指導等で中核的役割を担える者。・コミュニティスクールに関わる等地元地域と連携・協力し多方面で活躍できる者。					
	14	22	筑北村	◆「ふるさと学習」を通して地域と共にある学校、学校を核とした地域づくりに取り組みたい！						1	1
				「ふるさと学習」を中心に、地域とともにある学校、学校を核とした地域づくりの推進	村の総合戦略に「子育て・教育環境抜群！自給自足ができるちよどいい村」を掲げ、保小中合同の学校運営協議会を立ち上げ活動に着手。学校では、これまでの「ふるさと学習」の成果を踏まえ保小中12年間のカリキュラムを作成し活動を充実させていく。	・学校横断的視点、教科等横断的・総合的な視点から「ふるさと学習」を創造し、保小中の連携を地域とともに推進する実践力・マネジメント力のある者。					
	15	23	安曇野市	◆ICT教育と理数教育を強化し、「ふるさと学習」を充実させたい！						1	1
				理数教育を中心にICTを活用した保・小・中一貫性のある教育の推進	本村の強みを豊かな自然と捉え、保育園では「信州やまほいく」の認定を受け、小学校では自然を中心とした「ふるさと学習」を推進。ここに理数教育で培う見方や考え方やICTを活用し、保小中が連携した「ふるさと学習」を充実させていく。	・教科等を超えた視点で教育課程を見渡し、相互の関連を図ることができる者。・ICTを活用し、互いが高め合うような深い学びを創り出し「ふるさと学習」を充実させていける者。					
	15	24	安曇野市	◆協同(協働)による質の高い学びを実現させたい！						若干名	
				協同(協働)による質の高い学びの実現と小中一貫教育の推進	与えられた課題について、自ら課題を持ち、他者との対話により多様な考えに触れながら、課題解決に主体的に向かうといった一連の探究の過程を大切にする協同(協働)による質の高い学びの実現を図る。	・一人一人が学びの主人公となる学びの実現を願う者。・探究的で協同(協働)的な学びの実現に向かう授業改善に関心・意欲のある者。					
	16	25	大町市	◆ICT機器を活用することで考えを広め深める学びの充実を図りたい！						1	1
				ICT機器を活用した教育の推進	1人1台端末を一斉学習、個別学習、協働学習などそれぞれの学習場面に組み合わせながら活用することで「学びの進化」と「学びの転換」を図り、子どもたちが主体的に活動し、理解が深まる授業を実現させていく。	・ICT機器を活用した授業改善に高い関心と意欲のある者。・ICT機器を活用した授業実践を率先して学校全体に推進できる者。					
	16	26	大町市	◆令和5年度開校予定の八坂小中学校(仮称)で八坂オリジナルな教育を創造したい！						1	
				施設分離型小中一貫校(令和5年度開校)教育の推進～カリキュラム作成及びICT教育の推進～	「学び合いの里 八坂」にR5年度開校する八坂小中学校(仮称)において、発達段階に配慮したカリキュラムを開発して学校づくりを行うと共に、ICTによる学び合いを軸とする授業づくりを通して9年間の学びをつなげる。	・学校の特徴及び重点を理解し、課題解決に向かってより主体的・組織的に取り組むマネジメント力のある者。・主要な校務分掌主任を担い、若手教員への指導・助言ができる者。					
17	27	池田町	◆対話を基盤とした「協働の学び」の実践を中心にした学校づくりを実現したい！						若干名		
			教科等横断的なカリキュラム・マネジメント	自律した学習者※を目指し、総合的な学習の時間を核とした「協働の学び」を基盤とした教科横断的なカリキュラムに基づいて実践する。(※自己調整学習力、論理的思考力、自己有用感の3点で示す)	・教師として傾聴と愛語により生徒の学習意欲を高める者。・教科等横断的なカリキュラム・マネジメントを推進する意欲的な者。						
17	28	池田町	◆特別支援学級在籍の子どもが、可能な限り障害のない子どもと同じ場で共に学び合えるようにしたい！						若干名		
			インクルーシブ教育の推進	これからの共生社会を担う人材育成を目指し、R4年度を保小中が同一歩調でインクルーシブ教育を本格的に推進する初年度と位置付け。これまでの就学支援委員会等あり方の見直し、通常学級における合理的配慮等の研修を通じた指導改善を行う。	・特別支援教育についての専門性が高く、インクルーシブ教育や異年齢集団での学び合いに関心が高い者。・保護者と信頼関係が築け適切な方向性を提案できる者。						
18	29	松川村	◆地域の体験学習と海外姉妹校との交流学習を3年間のキャリア教育として体系化したい！						1		
			地域とのつながりを生かしたキャリア教育の推進	公民館、商工会、地元企業等との体験的な学習と、台湾の姉妹校との交流を組み合わせ、生徒一人一人が自己を見つめ、自分の良さを生かし、なりたい自分に向けて自己更新していくキャリア教育を推進する。	・地域や海外の方々と積極的につながり、村の特長を生かしたキャリア教育のカリキュラムづくりを共に考える意欲や実践力のある者。						

	市町村	テーマ	市町村	公募分野	概要	求める教師像	公募する教員数				
							小	中			
北信	19	30	千曲市	◆「ICTを活用した授業づくり」「校務の情報化」この2つを推進したい！							
				ICTを活用した学校づくりの推進	1.「ICT活用授業モデル校」を位置付け、授業での教育クラウドを活用した授業づくりを推進する。2.C4thやGoogle foams等を活用し、教員の働き方改革を視野に入れ各校における公務の情報化を推進する。	・ICTについての知識と技能を持ち、それらを活用した授業実践があり、情報教育に高い意欲を持つ者。・児童生徒はもちろん、同僚や教委事務局とも良好な関係性を築き事業を推進できる者。		2			
	31	千曲市	◆2027年度の国体長野県開催に向け、ハンドボール指導を充実させたい！								
			小中学校におけるハンドボール指導の充実	千曲市ではハンドボールを小中での授業や部活動等に位置付け脈々と実施。児童生徒・保護者・地域のニーズに応えながら、競技を通じて市教育大綱で示した「知・徳・体の調和のとれた『輝きたくましい子ども』をみんなで育みます」の具現化に努める。	・ハンドボールの競技経験または小中での指導経験があり、ハンドボール指導に高い意欲を持つ者。・国体開催に向け様々な方と連携・協働して活動できる者。		2				
	20	32	中野市	◆「学び合い」の授業で、ICT端末をどのような場面でどのように活用できるか実践的に探りたい！							
				ICT端末を活用し、思考・判断・表現力を高める授業づくり	児童生徒理解(困り感)を根拠に据えた特別支援教育と、ICT端末の活用を柱として、「学び合い」(協働的な学び)による授業改善を各校で実施し、情報交換しながら教育力向上を図る。	・積極的にICT端末を活用した授業づくりに取り組める者。・「学び合い」の場におけるICT端末の活用を探り、実践に繋げ、各校に共有できる者。		1			
				◆どの子どもも安心して授業できるように指導の充実を図り、授業改善に努めたい！							
	33	中野市	子どもの視点に立って、子どもと子どもをつなぐ特別支援教育	不登校傾向、学びづらさ・関わりづらさを抱えている子どもの視点に立ち、学びの過程を大切にして「学び合い」「信州型UD」を根拠に据えた授業改善に努め、学校間で情報交換しながら教育力向上を図る。	・特別支援教育に見識があり、校内で特別支援教育の中心になって授業や研修を推進してける者。		1				
			◆将来のスキー産業を担う人材を育成したい！								
	21	34	野沢温泉村	スキー教育	スキーの聖地、スキー産業の先進地としてこれまで16名ものオリンピックを輩出した野沢温泉村。小中の教育課程に「スキー科」を位置付け、生涯にわたってスキーに親しむ子どもの育成に取り組むと共に、競技スキーを志す児童生徒の育成にも努める。	・小中学生に対するスキー教育に関心があり、当村の子どもと共にスキーの素晴らしさや楽しさを味わいたいという思いが強い、情熱のある者。・スキーを通して地域の方々と交流できる者。		1~2			
				◆英語を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな国際感覚を備えた人材を育成したい！							
	35	野沢温泉村	小学校英語教育	地域の急速なグローバル化に対応し「野沢温泉村幼保小中一貫教育・高校連携教育」野沢温泉学園を開園。幼児期から一貫して「未来の村を担う人材育成教育」に取り組んでいる。特に英語教育は、課題解決型英語学習カリキュラムを作成して実践中。	・何と言っても英語が大好きで、小学校の子ども達との楽しい英語教室づくりに夢とロマンを抱いている者。・他の職員と学び合い、村の未来を担う子供たちの英語教育に専念できる者。		1				
◆ESD(Education for Sustainable Development)活動をさらに充実・発展させたい！											
22	36	山ノ内町	SDGsの達成を目指したESDの推進	町内全小中学校は、ESDの推進拠点であるユネスコスクールに登録し、SDGsの達成に向けたESDに取り組んでいる。特に志賀高原ユネスコエコパークや地域の観光・農業・人材に学ぶ体験活動を重視し、批判的思考力や問題解決能力等の育成を図っている。	・ESD、SDGsについて学び、理念や目標について理解し、学校教育の中で実践していきたいという意欲を持っている者。・子どもの願いを大切に、共に学ぶ姿勢がある者。		1				
			◆タブレットを活用しながら協働的な学びを実現させたい！								
23	37	栄村	ICT機器を活用した教育の推進	ICTの効果的な活用方法の研究を通して、児童生徒の主体的・対話的な学び、思考力・判断力・表現力を高めながら探求的に追及する授業を構築する。さらに、他校とのリモート授業により、多様な学習集団との学びを実現する。	・ICT機器を活用した児童生徒の主体的・対話的な授業をすべてのクラスで実現するとともに、村内教員に実践を広めることのできる者。		1				
			◆飯山市の子どものために、「表現力」を高める授業をともに創りませんか！								
38	飯山市	小学校学力向上(国語科または算数科)	思考力・判断力・表現力を高めるための授業はどのようなものか問い合い、特に小学校低・高学年における「表現力を高める授業づくり」について提案する。また、市独自の総合学力調査の結果を授業に生かす方法を検討する。	・意欲的に子どもたちの学習に関わり、ともに楽しく学ぼうとする者。・総合学力検査の結果分析に意欲的に取り組み、その結果を授業づくりに生かそうとする者。		1					
		◆飯山市のICTを活用した授業づくり推進のリーダーとして活躍してみませんか！									
24	39	飯山市	ICTを活用した授業改善	ICTの活用が主体的、対話的で深い学びにどのように効果的に働か研究する。また、ICTを活用することで効率的な学習を実現させたり個別学習・協働学習を充実させたりするよさについて研究を深める。	・意欲的に子どもに関わり、共に楽しく学ぼうとする者。・ICTを生かした授業改善に意欲的な者。・ICTを使う学習のよさや楽しさを味わえる研修を企画できる者。		1				
			◆飯山市の中学生の英語力を伸ばし、新しい英語授業の方向を提案しよう！								
40	飯山市	中学校英語教育	中学校英語科に小学校外国語科の「聞く・話す」に関わる言語活動のよさや特徴を取り入れるとともに、市独自の総合学力調査等の結果分析を生かして授業改善を図る。	・意欲的に子どもの英語学習に関わり、共に楽しく英語を学ぼうとする者。・授業改善に積極的に取り組み、市内中学校のリーダーとして活躍できる者。・小中での英語経験者が望ましい。		1					

	市町村	テーマ	市町村	公募分野	概要	求める教師像	公募する教員数		
							小	中	
北信	25	41	長野市	◆長野市の子ども「自学自習の資質能力」を伸ばしたい！			全ての子どもたちの「自学自習の資質能力」の伸張を支援するため、これまでの各校の取組を尊重しながら、児童生徒を取り巻く多様な教育課題の解決を図るための推進役となる者。	1	
				全ての子どもたちの「自学自習の資質能力」の伸張を支援する「しなのきプラン」の推進	本市学校教育の基本計画である「しなのきプラン」に基づき、これまで知・徳・体をバランスよく培うという点で一定の成果を上げた。今後は「自学自習の資質能力」の伸張を支援するための取組を実施する。				
北信	26	42	小川村	◆小中連携した取組により、英語の学力を高めたい！			・対話練習など実践的な指導のできる知識を持った者。・教材研究をしてレベルにあった教材の整備ができる者。	1	
				小学校外国語活動、教科英語	英語の学力向上を図り、子どもが意欲的に取り組む授業づくり、小中連携や研修方法についての研究・実践を通し、中学卒業時の英検3級取得を目指す。				
北信	27	43	信濃町	◆義務教育期の子ども成長を9年間で捉え、発達段階に応じた指導を実践したい！			・小中の両免許を有する者。・義務教育学校としての新たな学校文化を創造できる者。・特に、英語教育の推進と充実した特別支援教育の実践に情熱と意欲のある者。	義務教育学校 若干名	
				義務教育学校による小中一貫教育の推進	9年間を通じて学びに向かう力の育成に向けた「ふるさと学習」等を実施。初等部では、担任と学習指導員のTT指導により基本的な学習習慣や人間関係力を培う。高等部では、教科担任制による専門的な学びを通して、主体的な探求力や進路を切り開く力を培う。				

※「公募分野」は、市町村が地域の特色ある教育をもとに独自で設定したものです。